

学生の挑戦－第20回若年者ものづくり競技大会－

銀賞獲得！“ネットワークって、俺にもできる！”と確信した挑戦！

電子情報技術科では、“ハード”、“ソフト（プログラム）”、“ネットワーク”の3分野を学びますが、正直ネットワークは「できる！」っていう実感がありませんでした。だからこそ、「自分はネットワークもできるんだ」って確かめたくて、若年者ものづくり競技大会のITネットワークシステム管理職種に挑戦することを決めました。

4月から放課後に先生と一緒に練習をスタート。この競技では、小規模ネットワークを4時間で構築するんですが、過去の課題や先生が作ってくれた模擬課題を使って、時間内に正確に仕上げる練習を何度も繰り返しました。

さらに、昨年出場した先輩が模擬課題を提供してくれたり、一緒に練習に付き合ってくれたりして、本当に心強かったです。練習を重ねるうちに、3時間くらいで構築できるようになり、「いけるかも！」という手応えも感じられるようになりました。

大会当日は、緊張もあったし、予想外の出題もありドキドキ、ハラハラでしたが…結果は銀賞！

金賞を目指していたので少し悔しさもありますが、自分の力は出し切れたと思います。

そして何より、「ネットワーク、できる！」って自信が持てたことが一番の成果です。

挑戦して本当によかったです！

『ITネットワークシステム管理』職種 銀賞

猪熊 優真 さん

四国職業能力開発大学校
専門課程
電子情報技術科2年



「やってみる」って、こんなに大事だったんだ！

やってみないと何も始まらない！

これが、競技大会を通じて自分が一番強く感じたことです。

正直、高校時代は何か挑戦した経験がほとんどなかったのですが、四国能開大で「やってみよう！」と思えることに出会って、それが今回の大会への挑戦につながりました。

実際に“やってみる”ことで、達成感も味わえ、挑戦することの大切さもすごく実感できました。

これからも、まずは「やってみよう！」っていう気持ちを大事にして、いろんなことにチャレンジしていきたいです！

猪熊さんにとって、四国能開大とは！？

四国能開大は、“楽しく学べる”！“できる”を体感し、“やりたい”が見つかる！ところです。

仲間と一緒に学べるし、先生たちもすごく親切で、いつも丁寧に教えてくれます。

僕はこのあと、応用課程（生産電子情報システム技術科）に進学が決まっています。

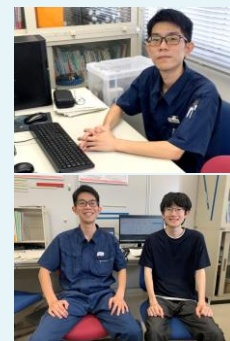
これからはネットワークの分野をもっと深く学んで、将来はネットワーク関連の仕事に就きたいと思っています。もっと成長して、自分の“できる”を広げていきたいです！



先生からのメッセージ 電子情報技術科 橋本 健

今年度4月からの短い準備期間で、大会に必要な技術を習得しようと懸命に努力し、放課後も遅くまで練習を重ねた姿を見てきました。そのひたむきな姿勢が、銀賞という成果につながったことを心から誇りに思います。基礎段階にありながら挑戦を恐れず、一歩ずつ力を伸ばしていった経験は大きな財産です。

今回の受賞を自信に変え、これからも理想の自分を思い描きながら、新しい挑戦を続けてほしいと願っています。



「ITネットワークシステム管理」職種とは？

競技課題は2つあります。①Webやメールなどのサービスを提供するために必要となるサーバと呼ばれるコンピュータシステムを構築すること、②サーバのサービスとは別のコンピュータから使えるようにするため、ルータと呼ばれる機器を用いてコンピュータネットワークを構築すること。これらを限られた時間で、サーバとルータの設定を行えるか、段階よく作業が進められるか、などがポイントです。